

ご利用案内

通常投映日時＝土・日・祝日

※平成 28 年 12 月 29 日(木)～平成 29 年 1 月 3 日(火) 年末年始休館

通常投映時間・内容(10 月～12 月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
それいけ！アンパンマン ～星空をかえせ～ 妖怪ウォッチ プラネタリアムは星と妖怪がいっぱい！ ほしのおはなし(星空解説)	太陽系の惑星 妖怪ウォッチ プラネタリアムは星と妖怪がいっぱい！ 星空解説 ※12/3(土)「親子プラネタリアム」は別内容となります。	神秘の光・オーロラ The Moon 星空解説

※ご希望による投映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
高校生以上 1 名無料

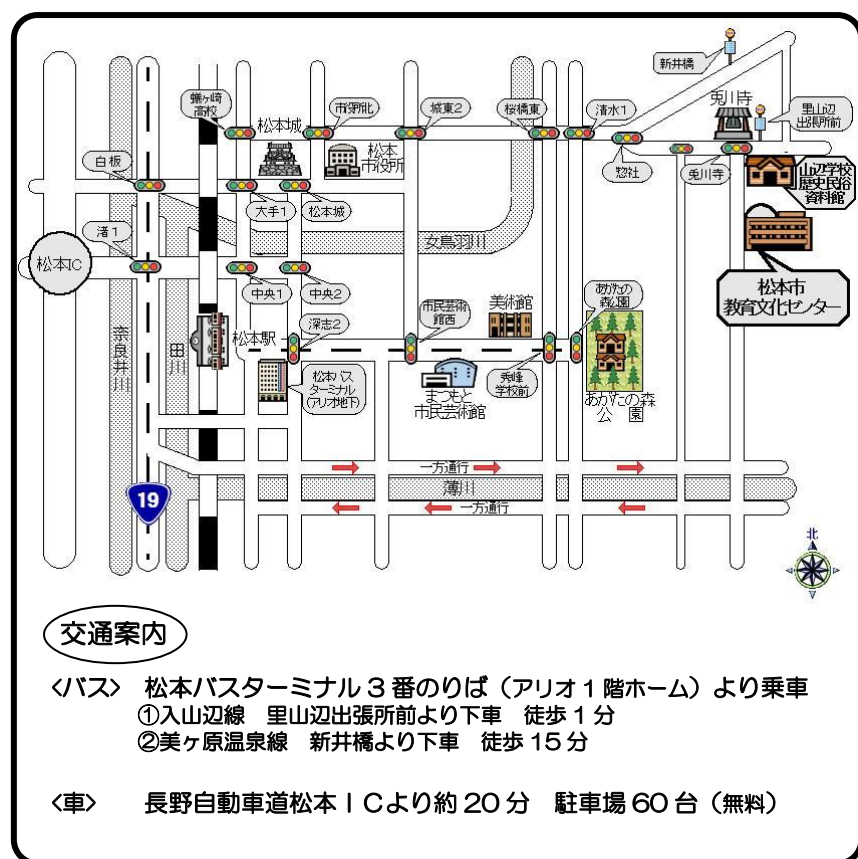
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



交通案内

〈バス〉 松本バスターミナル 3 番のりば (アリオ 1 階ホーム) より乗車
①入山辺線 里山辺出張所前より下車 徒歩 1 分
②美ヶ原温泉線 新井橋より下車 徒歩 15 分

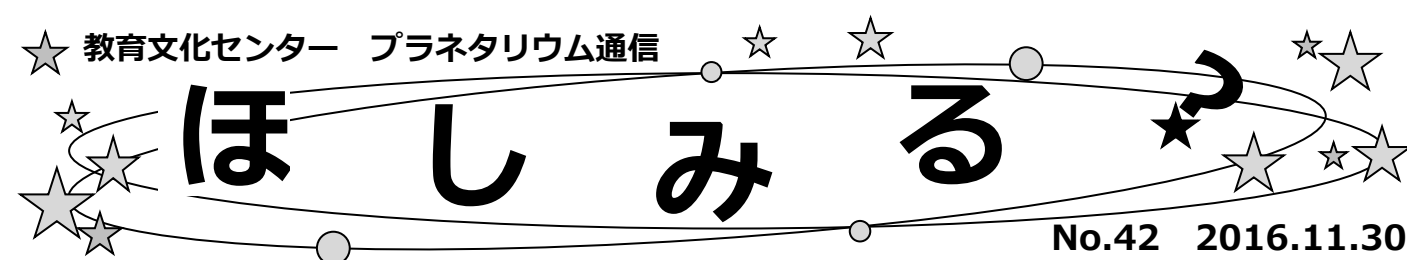
〈車〉 長野自動車道松本 I C より約 20 分 駐車場 60 台 (無料)

松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

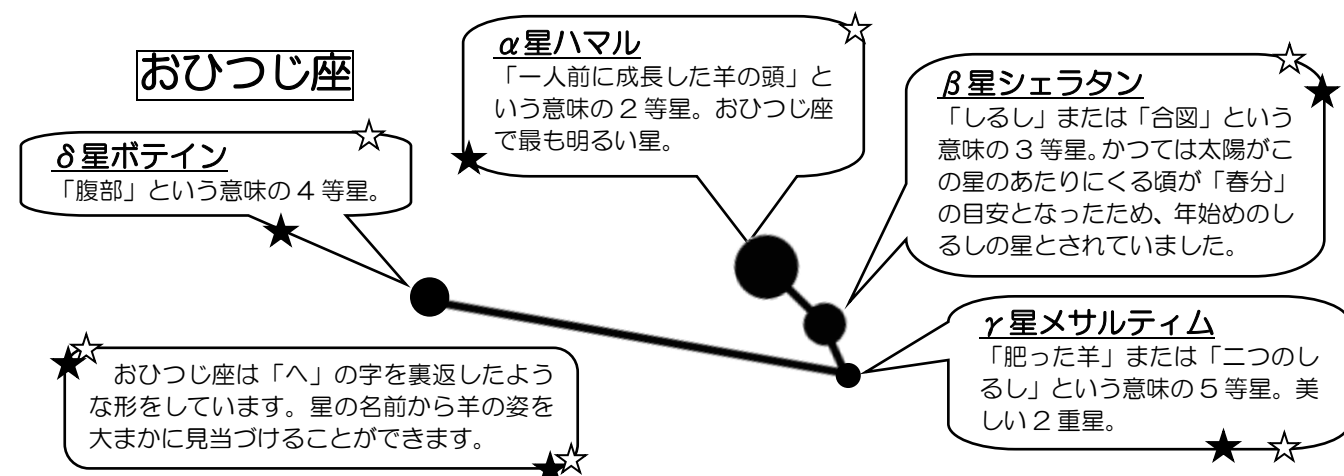
TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp



黄金の羊の背に乗って

夜空の星座が秋から冬へと移り始める頃、天頂付近で見られるのがおひつじ座です。今回は秋の星座の 1 つであり、星占いの 1 番目の星座であるおひつじ座を特集します。



おひつじ座の神話

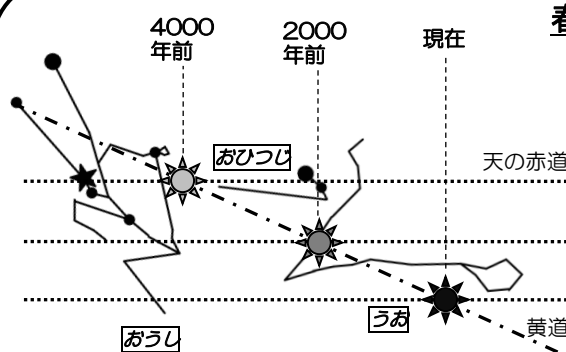
古代ギリシャのボイオーティア地方の王には、先妻との間にプリクソス王子とヘレー王女という 2 人の子がいました。2 番目の妻は王との間に子どもが生まれるとプリクソスとヘレーが邪魔に思えたので、ある年の小麦が実らなくなるように仕向け、「麦が実るようにするためには、プリクソス王子を大神ゼウス様への生贄として捧げなければならない」と嘘の報告をしました。

プリクソスが命を奪われそうになった時、ゼウスが送った金色の毛を持つ大きな羊がやってきて、兄妹をその背に乗せるとそのまま空を飛んで連れ去りました。その途中、妹のヘレーは海に落下してしまい、彼女が死んだ海は後に「ヘレスポントス(ヘレーの海)」と名付けられました。兄のプリクソスは悲しみますが、羊に励まされながらコルクスという国にたどり着き、そこで王女と結婚して幸せに暮らしました。

プリクソスは感謝のしるしとして、金毛の羊を生贄として捧げゼウスの元へ返しました。羊は働きを認められ、夜空でおひつじ座になったと言われています。

残った金色の毛皮はコルクス王に捧げられ、軍神アレスを祭るかしの木にかけられ、火を吹く竜に守られることとなりました。後にこの毛皮を求めてやってくる勇者たちの物語については、来年 2 月の「ほしみる」で紹介します。

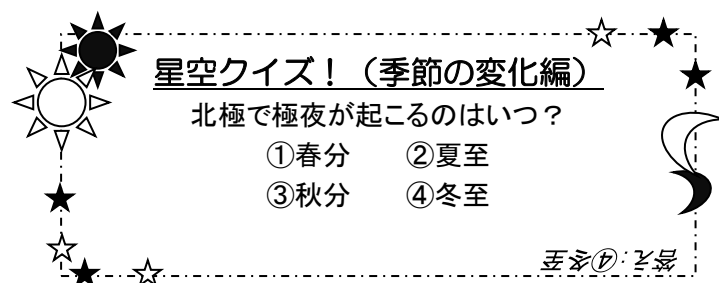
春分点について



春分点とは、黄道(地球から見た太陽の通り道)と、天の赤道(地球上の赤道を空に反映させたもの)が交わる 2 つの点のうち、黄道が天の赤道の南から北へと横切る点です。逆に北から南へ横切る点が秋分点となります。国民の祝日である「春分の日」および「秋分の日」は、太陽がこの春分点・秋分点に重なる日を指します。このタイミングは毎年異なるので、2 つの祝日の日にちは年によって異なります。

今から 2000 年以上前には、春分点はおひつじ座にありました。かつては春分を年の始めと考えていたため、黄道上にある 12 星座のうち、おひつじ座を 1 番目の星座として重要視してきました。現在の星占いでおひつじ座の始まりがほぼ春分の日と重なるのは、その頃の名残のためです。

星々は長い年月で少しずつ位置を変えます。現在の春分点は、おひつじ座からうお座へ移動しています。

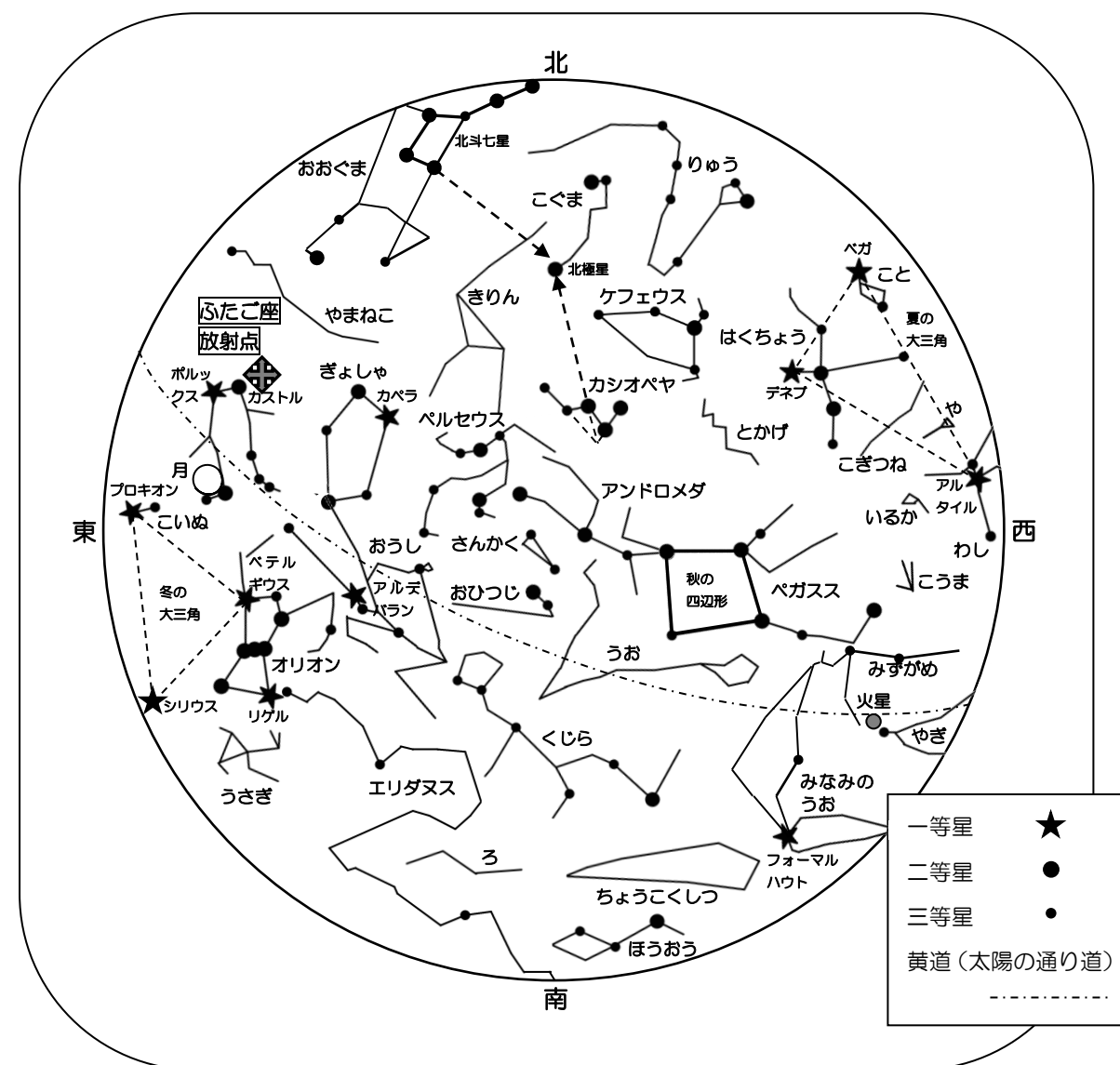


星空クイズ！(季節の変化編)

北極で極夜が起こるのはいつ？

- ①春分 ②夏至
③秋分 ④冬至

12月15日20時頃の松本の星空



12月の主な天文情報

- 1(木) 細い月と水星が接近

3(土) 細い月と金星が接近

5(月) 月と火星が接近

11(日) 水星が東方最大離角

14(水) 満月、ふたご座流星群が極大のころ(出現期間 12/5~12/20)

21(水) 冬至

23(金) 月と木星が接近

29(木) 新月

★
とうほうさいだいり かく
東方最大離角
地球から見て、内惑星が太陽から東へ最
離れて見える角度です。地上からは、日
入り直後の西の空で惑星が見えます。

★
きょくだい
極大
天体の活動が最も活発になること。
流星群の場合は、最も多く流星が現
れる期間を指します

とうほうさいだいいりかく
東方最大離角
地球から見て、内惑星が太陽から東へ最も離れて見える角度です。地上からは、日の入り直後の西の空で惑星が見えます。

きよくだい
極大

天体の活動が最も活発になること。
流星群の場合は、最も多く流星が現
れる期間を指します。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

12/3(土) ☆親子プラネタリウム 13:30～

親子連れの方を中心に楽しめる、番組の投映と解説を行います。

今回のテーマは「星の誕生」です。

申し込み不要。当日先着 90 人

12/10(土) ☆天体望遠鏡操作技術講習 18:00~21:00

教文センター屋上に設置されている、天体観測室と大型天体望遠鏡の扱い方についての講習です。

受付開始:12/3(土) 8:30 より

定員:5 人(高校生以上で、普通の望遠鏡の操作に慣れている方。

高校生は保護者同伴)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

満月とふたご座流星群

2016年12月14日はふたご座流星群が極大を迎えます。ふたご座流星群は、8月のペルセウス座流星群、1月のしぶんぎ座流星群とともに、「三大流星群」の1つに数えられています。この時期はふたご座が昇って来る時間が早いため一晩中観察でき、流星の出現数も1時間あたり40個以上と、毎年安定して多く見られるのが特徴です。

ただ、今年は極大時が昼間の 9 時ごろになることと、14 日が満月のため一晩中月明かりによって夜空が照らされてしまうことにより、観察の条件はあまり良くないと言われています。ふたご座の高度が十分に高くなる 22 時以降から明け方にかけて、1 時間あたりの出現数は 10 個程度と予測されています。

それでもまったく出現しないわけではないので、当日は満月とともに流れ星を楽しみましょう。流星が飛び出してくる点(放射点)の位置は、左の星図でご確認ください。

世界の冬至

12月21日は今年の冬至にあたる日です。冬至の日には、春分・夏至・秋分と同様に、その年によって毎回変わります。

冬至の日は、日の出・日の入りの位置が1年のうちで最も南寄りになるため太陽の高度が最も低くなり、結果として昼間の時間が1年のうちで最も短くなります。ただし、これは日本など北半球の中緯度地域で見られる現象で、地域によって変わります。

例えば北極に近い地域では、冬至の前後の頃は1日中太陽が沈み、うす暗い空や夜の状態が続く「極夜(きょくや)」となります。逆に南極に近い地域では、1日中太陽が沈まず、うす明るい空や昼間の状態が続く「白夜(びやくや)」となります。

それに対して、赤道付近では、太陽の高さに変化はあるものの、季節にかかわらず 1 年中昼と夜の時間がほぼ 12 時間ずつとなります。